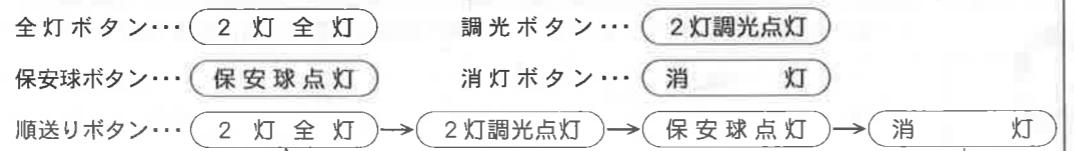
操作方法

■点灯切替の操作方法

リモコン送信機の各ボタンを押すことにより、次のように点灯状態が切り替わります。

全灯ボタン…（2 灯 全 灯）　調光ボタン…（2灯調光点灯）
保安球ボタン…（保安球点灯）　消灯ボタン…（消　灯）
順送りボタン…（2 灯 全 灯）→（2灯調光点灯）→（保安球点灯）→（消　灯）

壁スイッチコントロール機能（ワンタッチスイッチ機能）について

壁スイッチですばやく（約2秒以内）OFF → ON することにより、次のように点灯順序が切り替わります。

（消　灯）→壁スイッチON→（2 灯 全 灯）→（2灯調光点灯）→（保安球点灯）

※壁スイッチをOFFにするとどの点灯状態でも消灯します。

■スリープタイマーの操作方法

◆30分後に蛍光灯を消灯させたい場合
30分スリープタイマーボタンを押す。 → 確認音"ピピッ"【設定完了】
※蛍光灯が消灯している時は設定できません。

◆60分後に蛍光灯を消灯させたい場合
60分スリープタイマーボタンを押す。 → 確認音"ピッ"【設定完了】
※蛍光灯が消灯している時は設定できません。

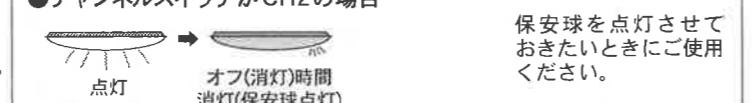
◆スリープタイマーを解除したい場合
30分に設定している場合は30分スリープタイマーボタンを、60分に設定している場合は60分スリープタイマーボタンを押す。 → 確認音"ピーッ"【解除完了】

スリープタイマー(60分、30分)で蛍光灯を消灯させる時、保安球点灯/不点灯をチャンネルスイッチによって選ぶことができます。

●チャンネルスイッチがCH1の場合

保安球を消灯させたいときにご使用ください。

●チャンネルスイッチがCH2の場合

保安球を点灯させておきたいときにご使用ください。

※必ず照明器具本体のチャンネルスイッチと合わせてご使用ください。

注意事項
・リモコン以外ではスリープタイマーの設定はできません。
・確認音が鳴らなかった場合は、設定されなかった可能性がありますので、再度設定をしなおしてください。
・設定を変更したい場合はいったんスリープタイマーを解除し、設定しなおしてください。
・スリープタイマーが設定されているかどうか、本体及びリモコンで確認することはできません。
・スリープタイマー設定中に、リモコンや壁スイッチで蛍光灯を消灯させた場合や、停電などで電源が2秒以上OFFになった場合は、スリープタイマーは自動的に解除されます。

器具のはずしかた

必ず電源を切って本体やランプが冷えてから行ってください。

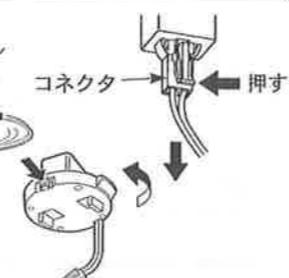
■カバーの外しかた
カバーを左に回してください。

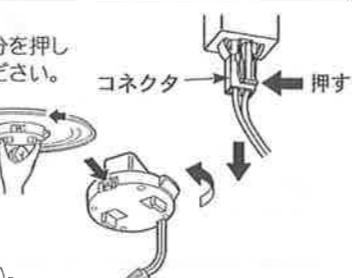
カバーは無理にはずさないでください。カバーの割れ、落下によるけがの原因となります。

■ランプの取り付け、取り外し

消灯直後は高温になっていますので注意ください。

ランプソケットの表示に従ってランプを取り付けてください。
ランプの口金は、多少動くようになっておりますが無理に回さないでください。
ランプ交換の際は、ランプホルダーで強く弾かないでください。

■電源の外しかた
右図のようにコネクタの矢印部分を押しながらコネクタを引き抜いてください。

■本体の外しかた
本体中央部のレバーを矢印方向へ引いてください。

■アダプタの外しかた
アダプタの赤いボタンを押しながら矢印方向に回してください。

注意 ※ボタンを押さずに回すと引掛シーリングが破損します。

スリム形蛍光ランプの特徴

器具に添付していますスリム形蛍光ランプ(FHC=高周波点灯専用環形蛍光ランプ)は、次のような特徴があります。

◎FHCは、ガラス管径16mmスリムで、省資源・省スペースおよび、器具の薄型化を可能にした、長寿命な蛍光ランプです。
◎このランプは、発光効率を向上させるために、片側の電極(ランプマークが表示されていない側)に通常より背の高い特殊な電極を採用しています。このためランプマークが表示されている側より、ランプ点灯時の影で若干暗くなっています。
◎ランプ点灯初期に、明るくなるまで少し時間がかかる場合がありますが、異常ではありません。約10分程度で明るくなります。

故障？と思われたら

ご使用中に異常が生じたときは下表を参考にお調べください。
下表以外の故障と思われるときは、電源を切り、お近くのNEC製品取扱店にご相談ください。
なお連絡されるときは器具の形式名及びお買い求め時期をお忘れなくお知らせください。形式名は器具本体部の器具ラベルに表示しています。

故障の状態	主な原因
蛍光ランプが点灯しない	蛍光ランプがランプソケットに正常に取り付いていない。
	蛍光ランプの寿命
保安球が点灯しない	保安球の寿命
	保安球のゆるみ
いずれも点灯しない	照明器具の壁スイッチがオフになっている。
照明器具を操作できない	照明器具の壁スイッチがオフになっている。
	リモコンの電池が残り少なくなっている。
	リモコンの電池の極性⊕⊖が間違っている。
	照明器具のランプが切れている。
	チャンネルスイッチが合っていない。

364－770　9LKZ ダイレクト説明書2（RL52）

NEC 照明器具

保証書添付　保存用　**取扱説明書**

●このたびはNEC照明器具をお買い上げくださいましてありがとうございます。
●取り付けの前には必ずこの取扱説明書を最後まで読み、正しく施工してください。
●取付工事が終わりましたら、この説明書は、ご使用になるお客様が保管してください。

【注意図記号とシグナル用語の意味について】

⚠警告：誤った取扱をしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるものです。
⚠注意：誤った取扱をしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくものです。

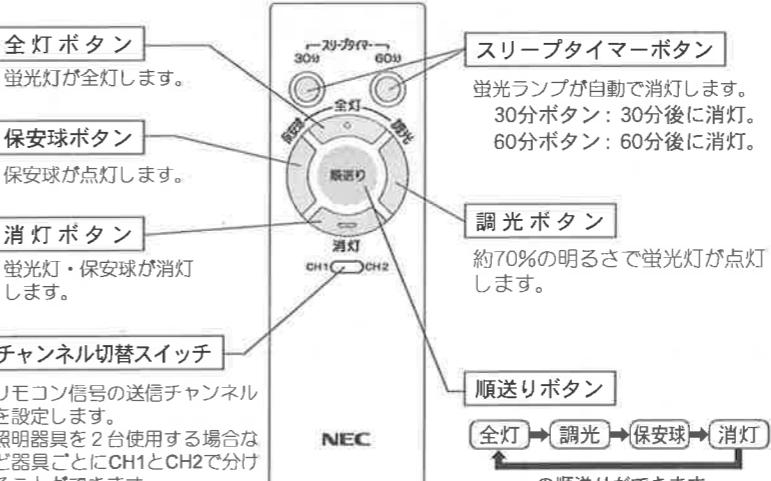
⚠：この記号は、注意(警告)をうながす内容があることを知らせるものです。
⊘：この記号は、禁止の行為であることを知らせるものです。
❗：この記号は、行為をお守りいただく内容を知らせるものです。

使用上のご注意

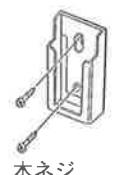
この器具は、FHC27、FHC34専用器具です。従来のFCL30、FCL32、FCL40は使用できません。

■本器を分解したり、改造しないでください。火災などの原因になります。
■精密機器のため落下などの衝撃を加えないでください。
■壁スイッチで電源を切った場合及び停電の場合は、リモコン送信機で操作しても作動しません。壁スイッチON及び停電復帰後は、全灯状態になります。
■点灯中や消灯直後、カバー等のプラスチックの伸縮により、「ピシ・ピシ」、「ポッ・ポッ」という摩擦音が生じることがあります。
■ランプが点灯するとき、ランプ管端部が赤く光ることがあります。
■本器具に添付のリモコン送信機は、当社リモコン照明器具専用です。リモコン式テレビなどには使用できません。また、テレビやビデオのリモコン送信機では、照明器具は作動しません。
■器具の近くでラジオや赤外線リモコン方式の電気機器を使用されますと、雑音が入ったり、リモコンを操作しても作動しない場合があります。
■本器具をご使用中あるいはリモコン送信機で消灯させた状態で停電した場合、停電から復帰したときは全灯状態となります。長期間のお出かけの際には、壁スイッチで電源を切ってください。
■この器具はリモコンスイッチで消灯してもリモコン部の回路が約1.0Wの電力を消費しておりますので、節電のために長期外出時には壁スイッチを切ってください。
■リモコン送信機は器具に向けて操作してください。リモコン送信機の周囲にしゃへい物がある場合、器具が作動しませんので、しゃへい物を取除いて再度ボタンを押してください。
■照明器具にリモコンの信号が届く範囲でご使用ください。
＊部屋の湿度によっては、リモコンが動作しづらいことがあります。
■天井や、壁、床の色や材質によってはリモコンが動作しづらいことがあります。
■乾電池の寿命は、マンガン乾電池1日10回使用の場合で約6ヶ月です。(目安)
■ニッカド電池などの充電式乾電池は使用できません。
■乾電池は、単3形乾電池をご使用ください。
■乾電池は、＋・－の極性を正しく入れてください。
■シンナー・ベンジンなどの揮発性のものやアルカリ系洗剤などを使用して本体を拭かないでください。外郭強度の低下、変色、故障の原因になります。

リモコンの名称

全灯ボタン　蛍光灯が全灯します。
保安球ボタン　保安球が点灯します。
消灯ボタン　蛍光灯・保安球が消灯します。
チャンネル切替スイッチ　リモコン信号の送信チャンネルを設定します。照明器具を2台使用する場合など器具ごとにCH1とCH2で分けることができます。
スリープタイマーボタン　蛍光ランプが自動で消灯します。30分ボタン：30分後に消灯。60分ボタン：60分後に消灯。
調光ボタン　約70%の明るさで蛍光灯が点灯します。
順送りボタン　全灯→調光→保安球→消灯の順送りができます。

電池の入れかた

1. リモコン裏面の電池カバーを軽く押しながら手前に引いて外してください。
2. 単3乾電池2本を、右図のように⊕⊖の向きを合わせてセットする。
3. 電池カバーをスライドさせ、カバーを閉じる。

リモコンケースを壁等に取り付ける場合
付属の木ネジでしっかり壁等に取り付けてください。リモコンケースに入れたままリモコン操作を行うと動作しない場合があります。その場合はリモコンケースからリモコンを取り出し、器具の方へ向けて操作してください。

定格

形式	定格電圧	定格周波数	定格消費電力	使用蛍光ランプ	使用保安球	始動方法
27形＋34形 (弊社形式：9LKZ***)	AC100V	50Hz／60Hz	71W	FHC27（高出力点灯38W） FHC34（高出力点灯48W）	E12なつめ球 (5W)	インバータ式

NECライティング株式会社
東京都品川区大崎1-2-2
〒141-0032　http://www.nelt.co.jp/

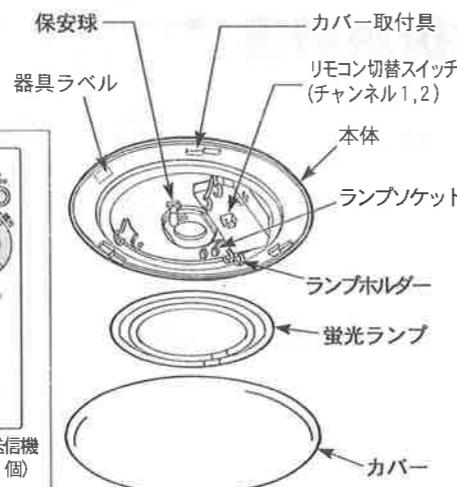
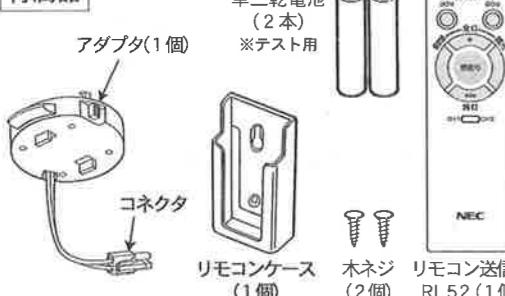
<お客様相談室>
フリーダイヤル 0120-52-3205
受付時間　平日9:00～12:00　13:00～18:00
(土、日、祭日は受け付けておりません)
FAX. 03-5719-8131

※この紙は再生紙を使用しています

各部の名称

この図は一部省略抽象化した共通部品図です。
機種によってカバー形状が異なる機種もあります。

付属品
アダプタ(1個)
コネクタ
単三乾電池（2本）※テスト用
リモコンケース（1個）
木ネジ（2個）
リモコン送信機 RL52(1個)

保安球
カバー取付具
器具ラベル
リモコン切替スイッチ（チャンネル1,2）
本体
ランプソケット
ランプホルダー
蛍光ランプ
カバー

取付上のご注意

壁付調光器のある回路では使用しないでください。

⚠注　意

本器具を取り付ける電源回路（壁スイッチ等）に調光器が接続されている場合、ランプが正常に点灯しなかったり、器具が故障することがあり使用できません。下図のような調光器が接続されている場合は必ず調光器を取り除いてください。（調光器の交換工事は電気工事店に依頼してください。）

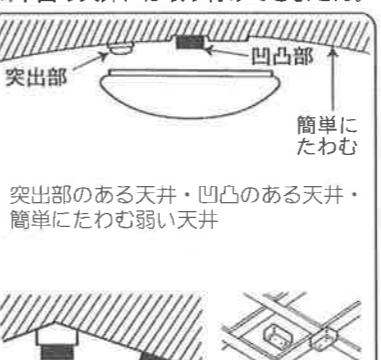
《調光器付壁スイッチ代表例》

注意

器具裏面についている黒いスポンジ(3コ)は、取り外さずにご使用ください。

器具裏面　スポンジ

取り付けできない天井

1.下図の天井には取り付けできません。

突出部のある天井・凹凸のある天井・簡単にたわむ弱い天井

変形天井 ななめ天井
サオブチ天井 格子天井

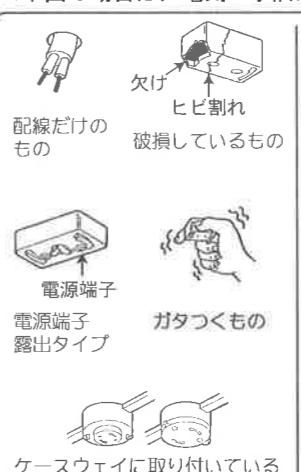
2.下図の場合は、電気工事店か販売店にご相談ください。

配線だけのもの
欠け　ヒビ割れ
破損しているもの
電源端子 電源端子露出タイプ
ガタつくもの

ケースウェイに取り付いている

次の配線器具は、出しろを確認してください。

角型、丸型引掛シーリング21mm以下は取り付けできません。

埋込ローゼット10mm以下は取り付けできません。

電気工事は電気工事士の資格が必要です。工事は必ず電気工事店に依頼してください。

引掛シーリングはベニヤ板などの薄い天井材には取り付けないでください。器具が落下する恐れがあります。

器具の取付方法

器具の取り付けを行う際は、感電等の事故防止の為、必ず電源を切って行ってください。

1. 天井の引掛シーリングを確認する

取り付け可能な引掛シーリング

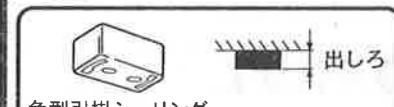
・下図の引掛シーリングであれば取り付け可能です。(ガタつきや破損がないことを確認して下さい。)

重要ポイント　**引掛シーリングの形状によって取付方法が異なります。**

角型引掛シーリング　出しろ

丸型引掛シーリング　出しろ

引掛ローゼット　出しろ

丸型引掛シーリング　出しろ

出しろが21mm以下は取り付けできません。

埋込ローゼット　出しろ

出しろが10mm以下は取付できません。

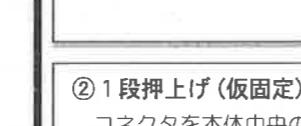
2. アダプタを取り付ける

アダプタの引掛金具を引掛シーリングに挿入し矢印方向にカチッと音がするまでまわしてください。

重要ポイント　**取り付け後、赤いボタンを押さずに左に回して、はずれないことを確認してください。**

⚠警告　**落下のおそれあり**
取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

3. 本体を取り付ける

①ランプがランプソケットに確実に差し込まれていることを確認してください。
不十分な場合、ランプが点灯しない場合がありますので確実に差し込んでください。

ランプソケット　ランプ

②１段押上げ（仮固定）
コネクタを本体中央の丸穴より通し、アダプタに丸穴を合わせ、本体中央部を天井に押し上げる。

※本体は仮固定の状態ですので、本体はグラついています。

⚠警告
まだ本体の取り付けは不完全です。
この状態のまま使用すると、落下によるけがの原因となります。

重要ポイント

③２段押上げ（取付完了）
さらに強く押し上げる。

要チェック
①本体中央部のアダプタの赤マーク(2ヶ所)が完全に見え、アダプタのツメ(2ヶ所)が完全に出ていることを確認する。
②本体のグラつきがないことを確認する。

これで本体の取り付けは完了です。

2. アダプタを取り付ける

アダプタの引掛金具を引掛シーリングに挿入し矢印方向にカチッと音がするまでまわしてください。

重要ポイント　**取り付け後、赤いボタンを押さずに左に回して、はずれないことを確認してください。**

⚠警告　**落下のおそれあり**
取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

3. 本体を取り付ける

①ランプがランプソケットに確実に差し込まれていることを確認してください。
不十分な場合、ランプが点灯しない場合がありますので確実に差し込んでください。

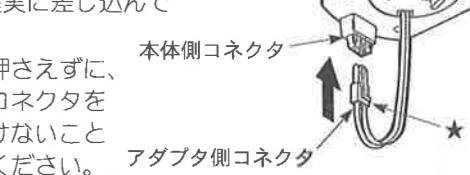
ランプソケット　ランプ

②１段押上げ（取付完了）
コネクタを本体中央の丸穴より通し、アダプタに丸穴を合わせ、本体中央部を天井に押し上げる。

要チェック
①本体中央部のアダプタの赤マーク(2ヶ所)が完全に見えていることを確認する。
②本体のグラつきがないことを確認する。

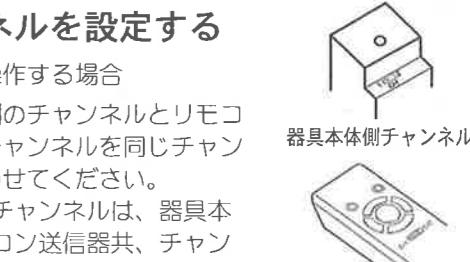
これで本体の取り付けは完了です。

4. 電源を接続する

アダプタ側コネクタを本体側コネクタに確実に差し込んでください。
★の部分を押さえずに、アダプタ側コネクタを引っ張り抜けないことを確認してください。

5. チャンネルを設定する

■１台のみ操作する場合
器具本体側のチャンネルとリモコン送信器チャンネルを同じチャンネルに合わせてください。
（出荷時のチャンネルは、器具本体側・リモコン送信器共、チャンネル１に設定しています。）

器具本体側チャンネル

送信機チャンネル

■２台の器具を別々に操作する場合
（１つのリモコン送信器で２台の器具を別々に操作することができます。）

１台目の器具本体側チャンネルを「１」、もう１台の器具本体側のチャンネルを「２」に合わせてください。
リモコン送信器のチャンネルを操作したい方の器具のチャンネルに合わせ、器具を操作してください。

6. カバーを取り付ける

重要ポイント　本体の警告印(⚠)にカバーの警告印(⚠)を合わせカバーを持ち上げパチンと音がするまでカバーを右にまわしてください。

カバー取り付け時に本体が回転してしまう場合は、本体の取り付け(押し上げ)が不十分です。
「3. 本体を取り付ける」に従って、本体の取り付け(押し上げ)を確認してください。

⚠警告　**落下のおそれあり**
取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。